

延浄寺だより

平成二八年 春彼岸

FAX 03.3326.7337
03.3326.5037

三月十七日〜二十三日

春彼岸

お中日の三月二〇日
十二時より 彼岸法要



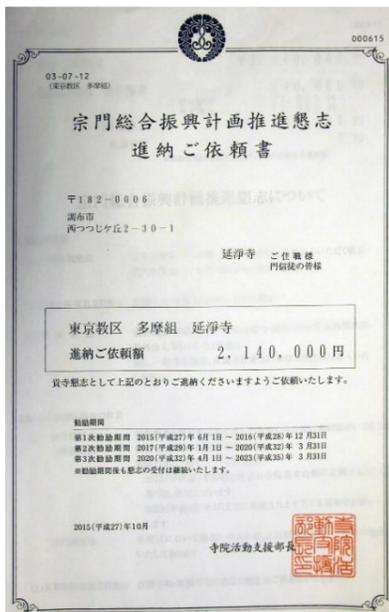
春のお彼岸が近づきました。彼岸は阿彌陀の光の中の故人やご先祖に感謝し、私のすべてを阿彌陀様にお任せし信を深める一週間です。みなさまおそろいでお出かけ下さい。

二十日のお中日は皆さままで阿彌陀様をお勤めし、その後住職から延浄寺の近況報告と護持会費についての前年度の事業報告・会計報告をさせて頂きます。

ご報告

宗門総合振興計画推進懇志

延浄寺割り当ては二一四万円
皆様のご協力で完納致しました。



秋の彼岸だよりで、本願寺の二四代大谷光真前門主から長男の二五代大谷光淳新門主に伝承される法要が今年から七年かけて全国各地で行われます。同時に宗門の記念事業もあり、合わせて二〇〇億円の予算が組まれています。

これを全国のご門徒・僧侶に割り当てているのが宗門総合振興計画推進懇志です。そのため延浄寺ご門徒からは二〇〇万円僧侶からは一四万円計二一四万円の進納を依頼されました。

そこで秋のお彼岸に一口五千円または二口一万円のご協力をお願いしたところ十一月報恩講までに一口二〇八人・二口九六六人・四口五人の計三〇九名の方から二一〇万円のご寄付を頂きました。

十一月九日に本山に進納致しましたことをご報告いたします。誠にありがとうございます。

故人やご先祖は阿彌陀様の光の中に

ご本堂の阿彌陀様にお参りすることとお墓参りの違い



昔の人は「そんなことをするのではないご先祖様に申し訳がない」「ご先祖様はみているよ」と言いながら子供を育てました。

私達は何時もご先祖、亡き人に支えられています。見えないが大きな不思議な力が私を支える。ご先祖が阿彌陀様の光の中におられるからです。

よく車に例えるのですが、夜 車とすれ違った時、車の外からはライトの光で、中の人は見えませんが、車の中からは外の様子が分かることと同じです。

私達はいつも阿彌陀様の光の中におられるご先祖に見られているのです。もちろん私達も阿彌陀様の光の中にいるのです。

ご本堂でのお参りは阿彌陀様です。

その光の中に故人やご先祖がおります。

ご先祖は阿彌陀様の光の中にあるのだ、阿彌陀様に合掌することは、ご先祖に合掌すること、合掌は感謝の挨拶、感謝を深めれば深

めるほど、ご先祖は喜び、あなたを支えてくれる力がおおきくなります。ご先祖への感謝のご挨拶が「南無阿彌陀仏」の合掌礼拝です。

お墓参り

ご先祖はお墓の中にいません。お墓の中には、ふれあいのあった故人のお骨「忘れ形見」が納骨されています。お墓の前で故人をしるび、故人の思い出を味わい、時には様々な報告や相談を墓に語りかける。

生前の付き合いをそのまま墓前にもちこみますから、生前あまり会話がなかった場合は、それはそれなりにお参りすればよいのです。

阿彌陀様に感謝しご先祖に感謝するのはご本堂での合掌、お世話になった故人に触れ合う場はお墓参りの合掌礼拝です。

ご来寺の時は、まずご本堂に合掌そしてお墓参りをしましょう。

**カロートが一杯で納骨できない
古いお骨は家の墓に「散骨」する**

お骨は故人の忘れもの、取りには来られないので、しばらく保管しておくのがお墓。もう少し気持ちをこめると「お骨は故人の忘れ形見」で大切に保管する場所がお墓です。

でも一〇〇年後は誰とも縁がなくなり、法事もなく、忘れ形見という気持ちは残らないでしょう。そうなるとお骨を見ても、なんの感情も起こりません。一〇〇年ではなく五〇年でも起こりえることです。カメのまま保管しても場所をとるだけになります。

お墓の整理は

浄土真宗の正しい納骨はカメで納めるのではなく、お墓の中に散骨するのですが、石屋さんの作戦と、なんとなく故人がお骨の中に

いるような気持ちで散骨をしなくなっていました。

ご自分のお墓に、30年以上のカメ(法事をしなくなったお骨)がいくつか納骨されているならば、一度整理をされると良いでしょう。ご希望の方は石屋を紹介いたします。もちろんご自分で作業されてもよいのです。

簡単な工具と目地止めは用意しておきます。5月の連休にでも墓整理に来られるのは、いかがでしょうか

今のお墓はカロートを開けるのは簡単で、車のトランクを開け、中を整理する感覚で行えばよいのです。納骨も当寺では石屋を呼ばず読経後、副住職がやっていますが、お檀家で若い力がある場合は、納骨時の思出を強くするため、皆様の手で行うと良いと思います。副住職は無料ですが石屋さんと呼ぶと3万円かかります。

「散骨」俱会一处の墓
利用者が多くなりました。

はやく自然に還すこと、五〇年後のことを思うと、お墓を造らない方が良い

延浄寺には散骨する寺の墓があります。「桜の樹の下」と「俱会一处」の2ヶ所です。

「俱会一处」のお墓の利用者が増えてきました。散骨墓は、刻字はしませんし、法名もお付けしない場合もあります。

小さな散骨口から家族の手で直接散骨します。



「俱会一处」に散骨



家族の手で散骨



桜の樹の下の散骨



忘れ形見として手元に

お骨を返すことはできませんので、必要ならば散骨する前に、ほんの少し分骨し手元に残しておきます。

これからはこのような「お骨の処理」が増えていくと思います。生前の約束が好ましいのですが、お骨があり困っている方がおいででしたら紹介してください。

また関心のある方には、詳しい案内を差し上げています。

この自然墓について東京新聞に広告を出しましたが、反響はあまりありませんでした。

この自然墓について東京新聞に広告を出しましたが、反響はあまりありませんでした。

東京都調布市

浄土真宗本願寺派
延浄寺

お寺で散骨ができる墓
早く自然に還る
散骨と忘れ形見

桜の樹

俱会一处

手元供養(忘れ形見)

自然に還るお墓

私のお墓はいらない、早く自然に還りたい。—— 葬儀はしても、しなくてもよい。法名(戒名)もいらないし墓誌もいらない。私は阿弥陀様の光の中であなたを優しく見守っています。そんな終活が当寺にはあります。

桜の樹の下の自然墓 桜の樹の下にあり土に戻す大きな墓です。葬儀も法事もいらぬ方に向いています。法名(戒名)墓誌も花立ても香炉もありません。桜の樹の下に家族の手で散骨し自然に還ります。

俱会一处の自然墓 花立て香炉はあります。墓誌はありません。家族の手で散骨します。墓参りはいつでも出来ます。葬儀も法事も当寺で行えます。

「忘れ形見」手元供養(少しのお骨を自宅に持ち帰り、身近に置くこともできます) お墓に行かなくても自宅いつでもお参りすることができます。手元供養の方法は様々あります。身近で故人を偲ぶ手元セットもあります。分骨されたお骨はいつでも当寺に戻すことができます。



経費 当寺の檀家になれば10万円。檀家にならない場合は30万円。生前の契約が前提ですが、故人も思いが同じであればお骨になってからでも可能です。遠方のお墓からの改葬もできます。金額は布施の目安です。経済的に困りの方はその都度相談し、布施の額を決めます。普通の完成墓地もあります。180~350万円。(区画面積0.36~1.06㎡)

問合せ・申し込み
03-3326-2797 あらかじめ電話のうえ見学・相談可
場所/東京都調布市西つつじヶ丘2-30-1
京王線「つつじヶ丘」駅北口 徒歩10分(800m)
完成墓地今回募集数:若干
事業主体:宗教法人浄土真宗本願寺派 延浄寺
広告有効期限:平成28年3月末

お墓分譲中



180万円の完成墓地

地を造りました。

一八〇〜三五〇万円(0.36平米から1.1平米)と五〇〇万円(2.2平米、注文を受け施工)完成墓地です。ご希望される方がおりましたら紹介ください。場所は下の墓地の水道の近くと門の近くです。ご自由にご覧ください。

アルバイト募集

二〇日(お中日) 二一日(振替休日) 9時から4時まで7000円 ご希望される方は電話下さい。10人でべ切ります。

03.3326.7337

散骨のお墓について記事にしましたが、やはりお墓があった方が良いという方に完成墓